【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【公表番号】特表2009-503785(P2009-503785A)
【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2009-004
【出願番号】特願2008-523965(P2008-523965)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｍ　4/38　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　45/00　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　45/08　(2006.01)
Ｂ２２Ｆ　1/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　4/62　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/36　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　30/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｍ　4/38　Ｚ
Ｃ２２Ｃ　45/00
Ｃ２２Ｃ　45/08
Ｂ２２Ｆ　1/00　Ｒ
Ｈ０１Ｍ　4/62　Ｚ
Ｈ０１Ｍ　10/00　１１５
Ｈ０１Ｍ　10/00　１０２
Ｃ２２Ｃ　30/00

【手続補正書】
【提出日】平成21年7月9日(2009.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
リチウムイオンバッテリのための非晶質の合金組成物であって、
ａ）１～５０モル％の量のスズと、
ｂ）シリコン、アルミニウム、又はそれらの組み合わせを含む第２要素であって、２０～９５モル％の量で存在する前記第２要素と、
ｃ）イットリウム、ランタニド元素、アクチニド元素、又はそれらの組み合わせと、任意のアルカリ土類元素とを含む第３要素であって、３～５０モル％の量で存在する前記第３要素と、
ｄ）０～１モル％の量の遷移金属と、
を含み、各モル％は、リチウムを除外した前記合金組成物中の全要素の合計モル数を基準にしたものである、合金組成物。
【請求項２】
陽極を含むリチウムイオンバッテリであって、前記陽極が請求項１に記載の合金組成物を含む、リチウムイオンバッテリ。
【請求項３】
前記合金組成物が、次式（Ｉ）の組成である、請求項２に記載のリチウムイオンバッテ

リ。

　$Sn_{a}Si_{b}Al_{c}M_{d}A_{e}T_{f}Li_{g}$　　　　（Ｉ）

　（式中、
　ａは、１～５０の範囲の数であり、
　ｂは、０～９５の範囲の数であり、
　ｃは、０～９５の範囲の数であり、
　ｂ＋ｃは、２０～９５の範囲の数であり、
　Ｍは、イットリウム、ランタニド元素、アクチニド元素、又はそれらの組み合わせであり、
　ｄは、３～５０の範囲の数であり、
　Ａは、アルカリ土類元素であり、
　ｅは、０～２０の範囲の数であり、
　ｄ＋ｅは、３～５０の範囲の数であり、
　Ｔは、遷移金属であり、
　ｆは、０～１の範囲の数であり、
　ｇは、０～［４．４（ａ＋ｂ）＋ｃ］の範囲の数であり、
　ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ＋ｅ＋ｆは、１００である。）

【請求項４】
　前記陽極が、リチウム金属を更に含む、請求項２又は３に記載のリチウムイオンバッテリ。

【請求項５】
　請求項２～４のいずれか１項に記載の少なくとも１つのリチウムイオンバッテリを含む、バッテリパック。

【請求項６】
　請求項１に記載の非晶質合金組成物を提供すること、及び
　陰極及び電解質を提供するとともに、その際前記電解質を前記陰極及び前記陽極双方と電気的に連通させること
を含む、リチウムイオンバッテリを製造する方法。